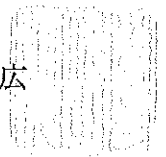


札幌市告示第1631-4号

令和4年(2022年)4月13日付け札幌市告示第1392号の内容に係る訂正について、下記のとおり告示する。

令和4年(2022年)4月22日

札幌市長 秋元 克広



記

1 訂正する内容

札幌市告示第1392号別表の工事番号「22(建)第0033号」工事名「中の島中学校給食室増築ほか工事」にかかる設計図書の一部を下記のとおり訂正し、入札日等を別表のとおり変更する。

2 設計図書の訂正箇所

別紙のとおり

3 担当部局

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市財政局管財部契約管理課工事契約係

電話011-211-2442

電子入札

(入札日等訂正版)

0	調達案件番号	2204003311	
1	工事（業務）番号	22（建）第 0033 号	
2	工事（業務）名	中の島中学校給食室増築ほか工事	
	工事（履行）場所	札幌市豊平区中の島2条3丁目1-1	
	工事（業務）内容	校舎棟給食室（RC造平屋建、延べ面積約520m <sup>2</sup> ）の増築工事、既存校舎の内部改修工事及び屋上防水改修工事（防水改修面積約2,320m <sup>2</sup> ）、並びに外構工事を行う。	
	工期（履行期間）	着手の日から令和5年05月31日まで	
6	入札参加資格の申請及び審査	審査方式	事後審査方式（入札参加資格の確認は落札を保留して行う。）
	申請書等提出期限（日）	開札日の翌日まで（審査順1位の落札候補者のみ）	
	落札結果通知予定日	令和4年5月25日	
10	設計図書に対する質問	提出方法	電子入札システムにより提出すること。なお、質問事項は、説明要求内容欄にできるだけ直接入力することとし、同欄には質問者の名称等は入力しないこと。
	提出先及び期限	契約担当部局（告示文第1）へ、この告示の日から入札開始日の3日前までに提出すること。ただし、開札日が令和4年5月10日の場合は令和4年4月25日まで、開札日が令和4年5月11日の場合は令和4年4月26日までに提出すること。（土曜日、日曜日及び休日を除く毎日、08時00分から20時00分まで。）	
	その他	質問者に対しては、電子入札システムにより回答する。質問に対する回答書は、開札日の前日までの土曜日、日曜日及び休日を除く毎日、09時00分から17時00分まで、札幌市役所本庁舎14階財政局閲覧室において閲覧に供する。また、電子入札システムの運用時間においては、電子入札システムにおいても閲覧することができる。	
11	入札及び開札の日時・場所等	電子入札案件区分	電子入札
	入札期間（年月日）	令和4年05月09日（08時00分～20時00分） 令和4年05月10日（08時00分～17時00分）	
	開札予定日時	令和4年05月11日 09時30分	
	場所	札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎14階財政局入札室	
	提出方法	電子入札システムによること。	
13	契約締結に関する事項等	契約締結期限	工事－落札結果通知日の翌日から起算して5日後（5日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日）まで。 業務－落札結果通知日の翌日から起算して2日後（2日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日）まで。 ※期限内に契約を締結しない場合は落札を取り消す。
	入札保証金	免除する。	
	契約保証金	工事－徴収する。ただし、利付国債の提供、金融機関等の保証、履行保証証券、履行保証保険（定額補填方式）によることができる。 業務－免除。	
17	施行担当課及び電話番号	施行担当課	都）建築部建築工事課
	電話番号	011-211-2824	

令和4・5年度

参考

## 設計書（見積参考）

工事名 中の島中学校給食室増築ほか工事

本設計書は、発注者の施工計画に基づいて作成した設計図書の一部であり、見積り算定の参考として提示するもので、契約上、これを拘束するものではありません。

ただし、設計時に知り得なかった現場状況の変化等は、監督職員と協議の上、必要に応じて設計変更の対象としますが、札幌市建設工事請負契約約款第1条第3項により受注者の責任において定める施工方法等（以下、施工方法等）は、原則、設計変更の対象外とします。

本設計書で数量を示す施工方法等

外部足場・災害防止項目の掛け払い及び共用日数、交通整理費に係る誘導員の人数

令和4年3月単価適用

共通費の算定に用いる工期 T = 13.1 月

誤

札幌市都市局建築部

令和4・5年度

参考

## 設計書（見積参考）

工事名 中の島中学校給食室増築ほか工事

本設計書は、発注者の施工計画に基づいて作成した設計図書の一部であり、見積り算定の参考として提示するもので、契約上、これを拘束するものではありません。

ただし、設計時に知り得なかった現場状況の変化等は、監督職員と協議の上、必要に応じて設計変更の対象としますが、札幌市建設工事請負契約約款第1条第3項により受注者の責任において定める施工方法等（以下、施工方法等）は、原則、設計変更の対象外とします。

本設計書で数量を示す施工方法等

外部足場・災害防止項目の掛け払い及び共用日数、交通整理費に係る誘導員の人数

令和4年3月単価適用

共通費の算定に用いる工期 T = 12.6 月 正

札幌市都市局建築部

建築工事 細目別内訳

外構工事		外構				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし機械運搬	温室撤去工事に計上					
(舗装等)						
直接仮設	墨出し、養生、清掃、後片付け等	1	式			
アスファルト舗装	細粒度アスコンt30 タックコート AS安定処理t50 プライムコート 下層路盤t450	1,011	㎡			
舗装機械運搬	1往復	1	式			別紙 00-0034
すきとり	積み込み共 H300程度	556	m3			アスファルト舗装
建設発生土運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 土砂 DID区間有り 14.0km以下	556	m3			
土工機械運搬 (フルドーザー)	排出ガス対策型 普通 3t級	1	往復			
縁石	9-11-7,9 再生グラッサラン	102	m			A
縁石	9-11-7,9 再生グラッサラン	1.4	m			B
砂利敷き	厚60	7.9	㎡			
ため柵 2型 A	520×520×1200 グレーチング 蓋 T-14	1	か所			
ため柵 2型 B	520×520×1050 グレーチング 蓋 T-14	1	か所			
浸透ドレン管 φ200	敷砂、透水シート、碎石20-30	20	m			
VU管 φ150	敷砂	14	m			
(教材園)						
教材園 縁石	210×300×610	27.2	m			
教材園 客土	残土処理共	22.1	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	13.3	m3			教材園
(銅像移設)						

建築工事 細目別内訳

外構工事		外構				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
とりこわし機械運搬	温室撤去工事に計上					
(舗装等)						
直接仮設	墨出し、養生、清掃、後片付け等	1	式			別紙 00-0066
アスファルト舗装	密粒度アスコンt30 タックコート AS安定処理t50 プライムコート 下層路盤t470 <b>正</b>	1,011	㎡			
舗装機械運搬	1往復	1	式			別紙 00-0067
すきとり	積み込み共 H300程度	556	m3			アスファルト舗装
建設発生土運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 土砂 DID区間有り 14.0km以下	556	m3			
土工機械運搬 (フルドーザ)	排出ガス対策型 普通 3t級	1	往復			
縁石	9-11-7,9 再生グリュッシャー	102	m			A
縁石	9-11-7,9 再生グリュッシャー	1.4	m			B
砂利敷き	厚60	7.9	㎡			
ため柵 2型 A	520×520×1200 グレーチング 蓋 T-14	1	か所			
ため柵 2型 B	520×520×1050 グレーチング 蓋 T-14	1	か所			
浸透ドレン管 φ200	敷砂、透水シート、碎石20-30	20	m			
VU管 φ150	敷砂	14	m			
(教材園)						
教材園 縁石	210×300×610	27.2	m			
教材園 客土	残土処理共	22.1	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	13.3	m3			教材園
(銅像移設)						

化粧目地モルタルの色 ( )
シーリング材の種類 ( ※9章シーリングによる )
・壁用金属枠及び補強材 形状等は図示による
・金属製化粧カバー 材質、寸法、形状等は図示による
・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする (16.14.5)
目地幅の寸法、伸縮調整目地の位置 ( 図示による ※16.14.5による )
目地部の骨格の補強方法 ( 図示による ※ガラスブロック製造所の仕様による )

## 17章 カーテンウォール工事

01 性能	カーテンウォールの性能は以下とし、確認方法は適切な資料により、監督職員の承諾を受ける。(17.1.3)																		
	<table border="1"> <tr> <td>耐風圧性( S- )</td> <td>耐火性( 時間耐火 )</td> </tr> <tr> <td>耐震性( )</td> <td>耐温度差性( )</td> </tr> <tr> <td>水密性( W- )</td> <td>遮音性( T- )</td> </tr> <tr> <td>気密性( A- )</td> <td>断熱性( H- )</td> </tr> </table>	耐風圧性( S- )	耐火性( 時間耐火 )	耐震性( )	耐温度差性( )	水密性( W- )	遮音性( T- )	気密性( A- )	断熱性( H- )										
耐風圧性( S- )	耐火性( 時間耐火 )																		
耐震性( )	耐温度差性( )																		
水密性( W- )	遮音性( T- )																		
気密性( A- )	断熱性( H- )																		
02 材料	<p>材料 (17.2.2)(17.2.3)(17.2.6)(17.3.2)(17.3.3)(17.3.6)</p> <table border="1"> <tr> <td>・タルカーテンウォール</td> <td>・PCカーテンウォール</td> </tr> <tr> <td>金属材料の種類 ( )</td> <td>           コンクリートの種類( ※軽量1種 )            設計基準強度( ※30N/mm )            スラブ( ※12cm以下 )            鉄筋の種類( ※SD295 )            補強鉄線 寸法 ( ※径3.2mm以上 )         </td> </tr> <tr> <td>・シーリングの種類、断面( ※図示による )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラスの種類、厚さ( ※図示による )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラスの取付材料</td> <td>           ・シーリングの種類( ※図示による )            ・構造カセット 構造、寸法、取付( ※図示による )         </td> </tr> <tr> <td>・断熱材の種類( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕上げ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火目地材(PCカーテンウォール) ※図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・先付け材料(PCカーテンウォール) ※図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>タルカーテンウォール</p> <p>製品の寸法許容差( ※表 17.2.1による 図示による(アルミニウム合金積物) )</p> <p>ガラス溝の寸法、形状等( ※製作所の仕様 )</p> <p>躯体つけ金物の取付位置の寸法許容差( ※表 17.2.2による 図示による )</p> <p>カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差( ※表 17.2.3による 図示による )</p> <p>PCカーテンウォール</p> <p>製品の見え掛り部寸法許容差 ( ※表 17.3.1による 図示による )</p> <p>構造カセットを使用する場合のガラス溝の寸法、寸法許容差は図示による。</p> <p>配筋 ( ※配筋を定めた計算書により、監督職員の承諾を受ける 図示による )</p> <p>カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差 ( ※表 17.3.2による 図示による )</p>	・タルカーテンウォール	・PCカーテンウォール	金属材料の種類 ( )	コンクリートの種類( ※軽量1種 ) 設計基準強度( ※30N/mm ) スラブ( ※12cm以下 ) 鉄筋の種類( ※SD295 ) 補強鉄線 寸法 ( ※径3.2mm以上 )	・シーリングの種類、断面( ※図示による )		・ガラスの種類、厚さ( ※図示による )		ガラスの取付材料	・シーリングの種類( ※図示による ) ・構造カセット 構造、寸法、取付( ※図示による )	・断熱材の種類( )		仕上げ( )		・耐火目地材(PCカーテンウォール) ※図示による		・先付け材料(PCカーテンウォール) ※図示による	
・タルカーテンウォール	・PCカーテンウォール																		
金属材料の種類 ( )	コンクリートの種類( ※軽量1種 ) 設計基準強度( ※30N/mm ) スラブ( ※12cm以下 ) 鉄筋の種類( ※SD295 ) 補強鉄線 寸法 ( ※径3.2mm以上 )																		
・シーリングの種類、断面( ※図示による )																			
・ガラスの種類、厚さ( ※図示による )																			
ガラスの取付材料	・シーリングの種類( ※図示による ) ・構造カセット 構造、寸法、取付( ※図示による )																		
・断熱材の種類( )																			
仕上げ( )																			
・耐火目地材(PCカーテンウォール) ※図示による																			
・先付け材料(PCカーテンウォール) ※図示による																			
03 取付け等																			

## 18章 塗装工事

01 材料	ホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(18.1.3)																												
	防火材料の指定 ( ※図示による )																												
	工程、使用量については、各メーカー仕様による。																												
02 素地ごしらえ	各部素地ごしらえは塗り工法に応じた節の規定による。(18.2節)																												
03 錆止め塗料塗り	各部の錆止め塗料は塗り工法に応じた節の規定による以外は下記による。(18.3節)																												
	<p>鉄鋼面</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>塗料種別(18.3.2)</th> <th>塗り種別(18.3.3)</th> <th>素地ごしらえ</th> </tr> <tr> <td>・屋内</td> <td>・A種 ※B種(水系)</td> <td>見掛け(※A種) 見隠れ(※B種)</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>・屋外</td> <td>※A種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>亜鉛めっき鋼面</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>塗料種別(18.3.2)</th> <th>塗り種別(18.3.3)</th> <th>素地ごしらえ</th> </tr> <tr> <td>・屋内</td> <td>・A種 ・B種 ※C種(水系)</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・屋外</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>水系錆止め塗料は仕上げ塗料がEP-Gの場合のみ適用する。</p> <p>注：鉄骨等の一回目さび止め塗料塗りは、製作工場において組み立て後に行う。ただし、組み立て後塗装困難となる部分は組み立て前にさび止め塗料を2回塗る。</p>	使用部位	塗料種別(18.3.2)	塗り種別(18.3.3)	素地ごしらえ	・屋内	・A種 ※B種(水系)	見掛け(※A種) 見隠れ(※B種)	※C種	・屋外	※A種			使用部位	塗料種別(18.3.2)	塗り種別(18.3.3)	素地ごしらえ	・屋内	・A種 ・B種 ※C種(水系)	・A種 ※B種	・A種 ・B種	・屋外	※A種 ・B種	・A種 ※B種	・A種 ※B種	・鋼製建具	※A種 ・B種	※A種 ・B種	※B種
使用部位	塗料種別(18.3.2)	塗り種別(18.3.3)	素地ごしらえ																										
・屋内	・A種 ※B種(水系)	見掛け(※A種) 見隠れ(※B種)	※C種																										
・屋外	※A種																												
使用部位	塗料種別(18.3.2)	塗り種別(18.3.3)	素地ごしらえ																										
・屋内	・A種 ・B種 ※C種(水系)	・A種 ※B種	・A種 ・B種																										
・屋外	※A種 ・B種	・A種 ※B種	・A種 ※B種																										
・鋼製建具	※A種 ・B種	※A種 ・B種	※B種																										

04 塗装	<p>・合成樹脂調合ペイント塗り SOP (18.4節)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>塗り種別</th> <th>素地ごしらえ等</th> </tr> <tr> <td>・木部</td> <td>・A種(屋外)・B種(屋内)</td> <td>・A種 ・B種(透明塗料塗り)</td> </tr> <tr> <td>・鉄鋼面</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> </tr> <tr> <td>・亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> </tr> </table> <p>塗料の種類( ※1種・2種 )</p> <p>耐水性塗料塗り DP (18.7節)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>上塗り等級及び種類</th> </tr> <tr> <td>・鉄鋼面</td> <td>B種</td> <td>・1級 ・2級 3級 (種類はA種とする)</td> </tr> <tr> <td>・亜鉛めっき鋼面</td> <td>A種 ・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート面等</td> <td>A種</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP-G (18.8節)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>塗り種別</th> <th>素地ごしらえ</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート、モルタル、フラスター面</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・せつこうボード面等</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>・A種(継目処理工法) ※B種</td> </tr> <tr> <td>・木部</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・鉄鋼面</td> <td>・A種 ※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>押出成型セメント板面の素地ごしらえはB種とする。</p> <p>塗料はTVOC 0.3%以下、シーラーはTVOC 1.0%以下とし、監督職員の承諾を必要とする。</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP (18.9節)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>塗り種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、モルタル、フラスター、ボード面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>押出成型セメント板面の素地ごしらえはB種とする。</p> <p>屋内に使用する場合は、塗料はTVOC 0.3%以下、シーラーはTVOC 1.0%以下とし監督職員の承諾を必要とする。</p> <p>水性ウレタンアーク塗り (18.11節準用)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>塗り種別</th> <th>素地ごしらえ</th> </tr> <tr> <td>・床</td> <td>※4回塗り サンダー掛け5回</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・一般木部</td> <td>※3回塗り・2回塗り</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>一般木部に使用する塗料はTVOC 1.0%以下、床に使用する塗料はTVOC 12%以下とし監督職員の承諾を必要とする。</p>	使用部位	塗り種別	素地ごしらえ等	・木部	・A種(屋外)・B種(屋内)	・A種 ・B種(透明塗料塗り)	・鉄鋼面	・A種 ※B種	錆止め塗料塗りによる	・亜鉛めっき鋼面		錆止め塗料塗りによる	使用部位	素地ごしらえ	上塗り等級及び種類	・鉄鋼面	B種	・1級 ・2級 3級 (種類はA種とする)	・亜鉛めっき鋼面	A種 ・B種		・コンクリート面等	A種	・1級 ・2級 ・3級	使用部位	塗り種別	素地ごしらえ	・コンクリート、モルタル、フラスター面	・A種 ※B種	・A種 ※B種	・せつこうボード面等	・A種 ※B種	・A種(継目処理工法) ※B種	・木部		※A種 ・B種	・鉄鋼面	・A種 ※B種		・亜鉛めっき鋼面			使用部位	塗り種別	コンクリート、モルタル、フラスター、ボード面	・A種 ※B種	使用部位	塗り種別	素地ごしらえ	・床	※4回塗り サンダー掛け5回	・A種 ※B種	・一般木部	※3回塗り・2回塗り	・A種 ※B種
使用部位	塗り種別	素地ごしらえ等																																																						
・木部	・A種(屋外)・B種(屋内)	・A種 ・B種(透明塗料塗り)																																																						
・鉄鋼面	・A種 ※B種	錆止め塗料塗りによる																																																						
・亜鉛めっき鋼面		錆止め塗料塗りによる																																																						
使用部位	素地ごしらえ	上塗り等級及び種類																																																						
・鉄鋼面	B種	・1級 ・2級 3級 (種類はA種とする)																																																						
・亜鉛めっき鋼面	A種 ・B種																																																							
・コンクリート面等	A種	・1級 ・2級 ・3級																																																						
使用部位	塗り種別	素地ごしらえ																																																						
・コンクリート、モルタル、フラスター面	・A種 ※B種	・A種 ※B種																																																						
・せつこうボード面等	・A種 ※B種	・A種(継目処理工法) ※B種																																																						
・木部		※A種 ・B種																																																						
・鉄鋼面	・A種 ※B種																																																							
・亜鉛めっき鋼面																																																								
使用部位	塗り種別																																																							
コンクリート、モルタル、フラスター、ボード面	・A種 ※B種																																																							
使用部位	塗り種別	素地ごしらえ																																																						
・床	※4回塗り サンダー掛け5回	・A種 ※B種																																																						
・一般木部	※3回塗り・2回塗り	・A種 ※B種																																																						

## 19章 内装工事

01 ビニル床シート張り等	(19.2節)																								
	<table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>種類等</th> <th>厚さ</th> <th>特殊機能</th> </tr> <tr> <td>・ビニル床シート</td> <td>種類( ※FS ) 色柄( ※無地 )</td> <td>※2.0mm</td> <td>・帯電防止 ・耐動荷重性 防汚性</td> </tr> <tr> <td>・ビニル床タイル</td> <td>種類( ※KT ) 色柄( )</td> <td>※2.0mm ・3.0mm</td> <td>・帯電防止 ・防汚性</td> </tr> <tr> <td>・ゴム床タイル</td> <td>種類( ) 色柄( )</td> <td>厚さ( ・3mm ・4.5mm ) 寸法( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル巾木</td> <td>※軟質 ・硬質</td> <td>厚さ( ※1.5mm ) 高さ( ※60mm・75mm・100mm )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・視覚障害者用床タイル</td> <td></td> <td>厚さ( ) 寸法( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>・目地処理工法(ビニル床シート張り) ( ※熱溶接工法 )</p> <p>施工箇所( )</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.2.2)</p> <p>※下地の種類は図示による (表 19.2.1)</p>	品名	種類等	厚さ	特殊機能	・ビニル床シート	種類( ※FS ) 色柄( ※無地 )	※2.0mm	・帯電防止 ・耐動荷重性 防汚性	・ビニル床タイル	種類( ※KT ) 色柄( )	※2.0mm ・3.0mm	・帯電防止 ・防汚性	・ゴム床タイル	種類( ) 色柄( )	厚さ( ・3mm ・4.5mm ) 寸法( )		・ビニル巾木	※軟質 ・硬質	厚さ( ※1.5mm ) 高さ( ※60mm・75mm・100mm )		・視覚障害者用床タイル		厚さ( ) 寸法( )	
品名	種類等	厚さ	特殊機能																						
・ビニル床シート	種類( ※FS ) 色柄( ※無地 )	※2.0mm	・帯電防止 ・耐動荷重性 防汚性																						
・ビニル床タイル	種類( ※KT ) 色柄( )	※2.0mm ・3.0mm	・帯電防止 ・防汚性																						
・ゴム床タイル	種類( ) 色柄( )	厚さ( ・3mm ・4.5mm ) 寸法( )																							
・ビニル巾木	※軟質 ・硬質	厚さ( ※1.5mm ) 高さ( ※60mm・75mm・100mm )																							
・視覚障害者用床タイル		厚さ( ) 寸法( )																							
02 カーペット敷き	(19.3節)																								
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種別、寸法(mm)等</th> </tr> <tr> <td>・織じゅうたん</td> <td>・A種 ・B種 ※C種 ・ルーフパイル ・カットパイル 色柄( ※模様のない無地 ) パイル系の種類( ※表 19.3.1による )</td> </tr> <tr> <td>・タフテッドカーペット</td> <td>※全面接着 ・グリップ ・カットパイル ・パイル長さ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ニードルパンチカーペット</td> <td>・ラバー付 ・ラバー無 厚さ( )</td> </tr> <tr> <td>・タイルカーペット</td> <td>※1種 ※ルーフパイル 寸法( ※500角 )</td> </tr> </table>	種類	種別、寸法(mm)等	・織じゅうたん	・A種 ・B種 ※C種 ・ルーフパイル ・カットパイル 色柄( ※模様のない無地 ) パイル系の種類( ※表 19.3.1による )	・タフテッドカーペット	※全面接着 ・グリップ ・カットパイル ・パイル長さ ( )	・ニードルパンチカーペット	・ラバー付 ・ラバー無 厚さ( )	・タイルカーペット	※1種 ※ルーフパイル 寸法( ※500角 )														
種類	種別、寸法(mm)等																								
・織じゅうたん	・A種 ・B種 ※C種 ・ルーフパイル ・カットパイル 色柄( ※模様のない無地 ) パイル系の種類( ※表 19.3.1による )																								
・タフテッドカーペット	※全面接着 ・グリップ ・カットパイル ・パイル長さ ( )																								
・ニードルパンチカーペット	・ラバー付 ・ラバー無 厚さ( )																								
・タイルカーペット	※1種 ※ルーフパイル 寸法( ※500角 )																								

03 合成樹脂塗床	(19.4節)																																																																																													
	<p>・帯電防止(3kV以下)</p> <p>タイルカーペットの敷き方( ※19.3.4 図示による )</p> <p>見切り、押え金物の材質、種類及び形状は図示による。</p> <p>グリップ工法の下敷き材( ※反毛フェルトの第2種2号、呼び厚さ8mm )</p> <p>(織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 )</p> <p>下地の種類は図示による。</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>床仕上げ</th> <th>床材</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚膜型塗床材</td> <td>・弾性ウレタン樹脂系</td> <td>※平滑 ・防滑 ・つや消し</td> </tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂系</td> <td>・薄膜流し展べ( ・平滑 ・防滑 ) ・厚膜流し展べ( ・平滑 ・防滑 ) ・耐熱共 ・樹脂モルタル( ・平滑 ・防滑 )</td> </tr> <tr> <td>薄膜型塗床材</td> <td>・エポキシ樹脂系</td> <td>平滑</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.4.2)</p> <p>(19.5節)</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>工法</th> <th>厚さ×幅×長さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>接着</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り用)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複合フローリング</td> <td>・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り用)</td> <td>( ・A種 ・B種 ・C種 )</td> </tr> </table> <p>樹種( ※なら ) ( ※地域材 )</p> <p>複合フローリングの防湿処理</p> <p>・下張り材料 ( ・合板(712mm) ・パーティクルボード(715mm) 図示による )</p> <p>・緩衝材(接着工法) 材料( ※合成樹脂発泡シート )</p> <p>仕上げ( ・UC塗り(水性) ・生地の上ワックス塗り )</p> <p>フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.5.2)(19.5.5)</p> <p>05 量敷き (19.6節)</p> <p>種別( ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ( ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N ) )</p> <p>06 せつこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7節)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(記号)</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">せつこうボード(GB-R)</td> <td rowspan="3">壁 誤 天井</td> <td>9.5</td> <td>(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>12.5・15.0</td> <td>(不燃)</td> </tr> <tr> <td>9.5</td> <td>(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化粧せつこうボード(GB-D)</td> <td rowspan="2">・トラバーチン模様 ・ホルムアルデヒド吸収分解型 455×910・910×910</td> <td>9.5</td> <td>(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>12.5</td> <td>(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">強化せつこうボード(GB-F)</td> <td rowspan="2">・木目模様 (システム下地)</td> <td>9.5・12.5</td> <td>(不燃)</td> </tr> <tr> <td>15.0</td> <td>(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">シーリングせつこうボード(GB-S)</td> <td rowspan="2"></td> <td>9.5・12.5</td> <td>(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>12.5・15.0</td> <td>(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックアップ化粧吸音板(DR)</td> <td>・普通 ・立体模様</td> <td>9.0・12.0</td> <td>(不燃)</td> </tr> <tr> <td>フレキシブル板(F)</td> <td></td> <td>6.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板</td> <td>・普通(※0.8FK) ・化粧(着色)・穴あけ</td> <td>6.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木毛セメント化粧フレキシブル板</td> <td>※難燃 ・断熱</td> <td>20・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>種類</td> <td>樹種(加工方法)</td> <td>厚さ</td> <td>処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>普通合板</td> <td>ワン ※シナ</td> <td>12</td> <td>防虫</td> </tr> <tr> <td></td> <td>天然木化粧合板</td> <td></td> <td></td> <td>防虫</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特殊加工化粧合板</td> <td></td> <td></td> <td>防虫</td> </tr> </table> <p>MDF、パーティクルボード、合板、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.7.2)</p>	床仕上げ	床材	表面仕上げ	厚膜型塗床材	・弾性ウレタン樹脂系	※平滑 ・防滑 ・つや消し	・エポキシ樹脂系	・薄膜流し展べ( ・平滑 ・防滑 ) ・厚膜流し展べ( ・平滑 ・防滑 ) ・耐熱共 ・樹脂モルタル( ・平滑 ・防滑 )	薄膜型塗床材	・エポキシ樹脂系	平滑	品名	工法	厚さ×幅×長さ(mm)	・フローリングブロック1等	接着	・	・フローリングボード1等	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り用)	・	・複合フローリング	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り用)	( ・A種 ・B種 ・C種 )	種類(記号)	種別	厚さ(mm)	備考	せつこうボード(GB-R)	壁 誤 天井	9.5	(準不燃)	12.5・15.0	(不燃)	9.5	(準不燃)	化粧せつこうボード(GB-D)	・トラバーチン模様 ・ホルムアルデヒド吸収分解型 455×910・910×910	9.5	(準不燃)	12.5	(不燃)	強化せつこうボード(GB-F)	・木目模様 (システム下地)	9.5・12.5	(不燃)	15.0	(不燃)	シーリングせつこうボード(GB-S)		9.5・12.5	(準不燃)	12.5・15.0	(不燃)	ロックアップ化粧吸音板(DR)	・普通 ・立体模様	9.0・12.0	(不燃)	フレキシブル板(F)		6.0	4.0	けい酸カルシウム板	・普通(※0.8FK) ・化粧(着色)・穴あけ	6.0		木毛セメント化粧フレキシブル板	※難燃 ・断熱	20・25		合板					種類	樹種(加工方法)	厚さ	処理		普通合板	ワン ※シナ	12	防虫		天然木化粧合板			防虫		特殊加工化粧合板			防虫
床仕上げ	床材	表面仕上げ																																																																																												
厚膜型塗床材	・弾性ウレタン樹脂系	※平滑 ・防滑 ・つや消し																																																																																												
	・エポキシ樹脂系	・薄膜流し展べ( ・平滑 ・防滑 ) ・厚膜流し展べ( ・平滑 ・防滑 ) ・耐熱共 ・樹脂モルタル( ・平滑 ・防滑 )																																																																																												
薄膜型塗床材	・エポキシ樹脂系	平滑																																																																																												
品名	工法	厚さ×幅×長さ(mm)																																																																																												
・フローリングブロック1等	接着	・																																																																																												
・フローリングボード1等	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り用)	・																																																																																												
・複合フローリング	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り用)	( ・A種 ・B種 ・C種 )																																																																																												
種類(記号)	種別	厚さ(mm)	備考																																																																																											
せつこうボード(GB-R)	壁 誤 天井	9.5	(準不燃)																																																																																											
		12.5・15.0	(不燃)																																																																																											
		9.5	(準不燃)																																																																																											
化粧せつこうボード(GB-D)	・トラバーチン模様 ・ホルムアルデヒド吸収分解型 455×910・910×910	9.5	(準不燃)																																																																																											
		12.5	(不燃)																																																																																											
強化せつこうボード(GB-F)	・木目模様 (システム下地)	9.5・12.5	(不燃)																																																																																											
		15.0	(不燃)																																																																																											
シーリングせつこうボード(GB-S)		9.5・12.5	(準不燃)																																																																																											
		12.5・15.0	(不燃)																																																																																											
ロックアップ化粧吸音板(DR)	・普通 ・立体模様	9.0・12.0	(不燃)																																																																																											
フレキシブル板(F)		6.0	4.0																																																																																											
けい酸カルシウム板	・普通(※0.8FK) ・化粧(着色)・穴あけ	6.0																																																																																												
木毛セメント化粧フレキシブル板	※難燃 ・断熱	20・25																																																																																												
合板																																																																																														
	種類	樹種(加工方法)	厚さ	処理																																																																																										
	普通合板	ワン ※シナ	12	防虫																																																																																										
	天然木化粧合板			防虫																																																																																										
	特殊加工化粧合板			防虫																																																																																										

07 吸音材	<p>・遮音シート材 ( ・アクリル系シーリング材 ・ウレタン系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド )</p> <p>下地 ※図示による</p> <p>合板の張付け( ・A種 ※B種 )</p> <p>合板の表面性能( ) 接着の程度( )</p> <p>せつこうボードの目地処理( ・継目処理 ・突付け ・目透かし )</p> <p>継目処理のエッジの種類( ・テーパーエッジ ・ベベルエッジ )</p> <p>突付け、目透かしのエッジの種類( ・ベベルエッジ ・スクエアエッジ )</p> <p>吸音材の材質、工法(JIS A 6301)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>品質・規格</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音材</td> <td>※ロックウール吸音ボード1号</td> <td>25・50・40</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音材</td> <td>※グラスウール吸音ボード2号</td> <td>25 50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>32K・48K・60K・64K</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法</p> <p>・グラスクロス(JIS R 3414EP )にて額縁張りしたもの</p> <p>・インサレピン留め化粧ワッシャー押さえ又は断熱ファスター留め</p> <p>・グラスクロス(JIS R 3414EP )にて片面張りしたもの</p> <p>・インサレピン留め化粧ワッシャー押さえ又は断熱ファスター留め</p> <p>壁紙の品質はJIS A 6921による(19.8節)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>程度</th> <th>施工箇所</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>※塩化ビニル樹脂系</td> <td>※普及品</td> <td>壁 ・天井</td> <td>・不燃 準不燃 ※難燃</td> </tr> </table> <p>モルタル、フラスター面素地ごしらえ ( ・A種 ※B種 ) (表 18.2.4)</p> <p>コンクリート面素地ごしらえ ( ・A種 ※B種 ) (表 18.2.5)</p> <p>せつこうボード面素地ごしらえ ( ・A種 ※B種 ) (表 18.2.7)</p> <p>壁紙、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。</p> <p>また壁紙はTVOCがISM又はSV規格又は同等の基準のものとする。(19.8.2)</p> <p>打込み工法の断熱材はJIS A 9521による。(19.9.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・特号 ・1号 ・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・3種 a 3種 b ・</td> <td>100 30</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・1種 ・2種 1号 ・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・1種 1号 ・2種 1号 ・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材並びに接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.9.2)</p> <p>現場発泡工法の断熱材はJIS A 9526による。(19.9.3)</p> <p>吹き付け硬質ウレタンフォーム種類( ※A種 1 ・A種 1H )</p> <p>難燃性を有するものとする。</p> <p>吹付け厚さ( mm)</p> <p>火気及び有害ガス等に対する安全衛生対策は、関係法令等に従い十分に行う。</p> <p>その他の断熱材</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td>・グラスウール</td> <td>・16K品(・高性能)</td> <td></td> <td>JIS A 9504</td> </tr> <tr> <td>・ル</td> <td>・24K品(・高性能)</td> <td></td> <td>JIS A 9521</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。</p>	材種	品質・規格	厚さ(mm)	・ロックウール吸音材	※ロックウール吸音ボード1号	25・50・40	・グラスウール吸音材	※グラスウール吸音ボード2号	25 50		32K・48K・60K・64K		種類	程度	施工箇所	防火性能	※塩化ビニル樹脂系	※普及品	壁 ・天井	・不燃 準不燃 ※難燃	材質	種類	厚さ(mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・特号 ・1号 ・			・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・3種 a 3種 b ・	100 30	図示による	・硬質ウレタンフォーム断熱材	・1種 ・2種 1号 ・			・フェノールフォーム断熱材	・1種 1号 ・2種 1号 ・			材質	厚さ(mm)	施工箇所	規格	・グラスウール	・16K品(・高性能)		JIS A 9504	・ル	・24K品(・高性能)		JIS A 9521
材種	品質・規格	厚さ(mm)																																																			
・ロックウール吸音材	※ロックウール吸音ボード1号	25・50・40																																																			
・グラスウール吸音材	※グラスウール吸音ボード2号	25 50																																																			
	32K・48K・60K・64K																																																				
種類	程度	施工箇所	防火性能																																																		
※塩化ビニル樹脂系	※普及品	壁 ・天井	・不燃 準不燃 ※難燃																																																		
材質	種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																		
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・特号 ・1号 ・																																																				
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・3種 a 3種 b ・	100 30	図示による																																																		
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・1種 ・2種 1号 ・																																																				
・フェノールフォーム断熱材	・1種 1号 ・2種 1号 ・																																																				
材質	厚さ(mm)	施工箇所	規格																																																		
・グラスウール	・16K品(・高性能)		JIS A 9504																																																		
・ル	・24K品(・高性能)		JIS A 9521																																																		
08 壁紙張り																																																					
09 断熱・防露																																																					

## 20章 ユニット及びその他工事

01 フリーアクセスフロア	(20.2.2)			
	<p>分類</p> <table border="1"> <tr> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・支柱非固定タイプ ・支柱固定タイプ</td> <td>・支柱分離型 ・支柱一体型</td> </tr> </table> <p>構成材の材質 ( ・アルミ系 ・スチール系 ・有機質系 ・無機質系 )</p> <p>表面仕上げ材の材質 ( ・ビニル床タイル カーペット ・タイルカーペット ・ホモジニアスビニル床タイル )</p> <p>バネ寸法 ( )</p> <p>高さ ( ) (床仕上材含まない)</p> <p>耐震性能 設計用標準水平震度 Ks ( ・1.0 ・0.6 ) (部位については図示による)</p>	・置敷式 ・支柱調整式	・支柱非固定タイプ ・支柱固定タイプ	・支柱分離型 ・支柱一体型
・置敷式 ・支柱調整式	・支柱非固定タイプ ・支柱固定タイプ	・支柱分離型 ・支柱一体型		

化粧目地モルタルの色 ( )
シーリング材の種類 ( ※9章シーリングによる )
・壁用金属枠及び補強材 形状等は図示による
・金属製化粧カバー 材質、寸法、形状等は図示による
・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする (16.14.5)
目地幅の寸法、伸縮調整目地の位置 ( 図示による ※16.14.5による )
目地部の骨格の補強方法 ( 図示による ※ガラスブロック製造所の仕様による )

## 17章 カーテンウォール工事

01 性能	カーテンウォールの性能は以下とし、確認方法は適切な資料により、監督職員の承諾を受ける。(17.1.3)
耐風圧性( S- )	耐火性( 時間耐火 )
耐震性( )	耐温度差性( )
水密性( W- )	遮音性( T- )
気密性( A- )	断熱性( H- )
02 材料	材料 (17.2.2)(17.2.3)(17.2.6)(17.3.2)(17.3.3)(17.3.6)
・タルカーテンウォール	・PCカーテンウォール
金属材料の種類 ( )	コンクリートの種類( ※軽量1種 ) 設計基準強度( ※30N/mm ) スラブ( ※12cm以下 ) 鉄筋の種類( ※SD295 ) 補強鉄線 寸法 ( ※径3.2mm以上 )
・シーリング 種類、断面( 図示による )	
・ガラス 種類、厚さ( 図示による )	
ガラスの取付材料	・シーリング 種類( 図示による ) ・構造カセット 構造、寸法、取付( 図示による )
・断熱材 種類( )	
仕上げ( )	
・耐火目地材(PCカーテンウォール) 図示による	
・先付け材料(PCカーテンウォール) 図示による	
03 取付け等	タルカーテンウォール 製品の寸法許容差( ※表 17.2.1による 図示による(アルミニウム合金積物) ) ガラス溝の寸法、形状等( ※製作所の仕様 ) 躯体つけ金物の取付位置の寸法許容差( ※表 17.2.2による 図示による ) カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差( ※表 17.2.3による 図示による ) PCカーテンウォール 製品の見え掛り部寸法許容差 ( ※表 17.3.1による 図示による ) 構造カセットを使用する場合のAカー溝の寸法、寸法許容差は図示による。 配筋 ( ※配筋を定めた計算書により、監督職員の承諾を受ける 図示による ) カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差 ( ※表 17.3.2による 図示による )

## 18章 塗装工事

01 材料	ホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(18.1.3)		
	防火材料の指定 ( 図示による ) 工程、使用量については、各メーカー仕様による。		
02 素地ごしらえ	各部素地ごしらえは塗り工法に応じた節の規定による。(18.2節)		
03 錆止め塗料 塗り	各部の錆止め塗料は塗り工法に応じた節の規定による以外は下記による。(18.3節)		
鉄鋼面			
使用部位	塗料種別(18.3.2)	塗り種別(18.3.3)	素地ごしらえ
・屋内	・A種 ※B種(水系)	見掛け(※A種) 見隠れ(※B種)	※C種
・屋外	※A種		
亜鉛めっき鋼面			
使用部位	塗料種別(18.3.2)	塗り種別(18.3.3)	素地ごしらえ
・屋内	・A種 ・B種 ※C種(水系)	・A種 ※B種	・A種 ・B種
・屋外	※A種 ・B種	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・鋼製建具	※A種 ・B種	※A種 ・B種	※B種
水系錆止め塗料は仕上げ塗料がEP-Gの場合のみ適用する。 注：鉄骨等の一回目さび止め塗料塗りは、製作工場において組み立て後に行う。 ただし、組み立て後塗装困難となる部分は組み立て前にさび止め塗料を2回塗			

04 塗装	る。 ・合成樹脂調合ペイント塗り SOP (18.4節)	
使用部位	塗り種別	素地ごしらえ等
・木部	・A種(屋外)・B種(屋内)	・A種 ・B種(透明塗料塗り)
・鉄鋼面	・A種 ※B種	錆止め塗料塗りによる
・亜鉛めっき鋼面		錆止め塗料塗りによる
塗料の種類( ※1種・2種 )		
耐水性塗料塗り DP (18.7節)		
使用部位	素地ごしらえ	上塗り等級及び種類
・鉄鋼面	B種	・1級・2級 3級 (種類はA種とする)
・亜鉛めっき鋼面	A種 ・B種	
・コンクリート面等	A種	・1級・2級・3級
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP-G (18.8節)		
使用部位	塗り種別	素地ごしらえ
・コンクリート、モルタル、 フラスター面	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・せつこうボード面等	・A種 ※B種	・A種(継目処理工法) ※B種
・木部		※A種・B種
・鉄鋼面	・A種 ※B種	
・亜鉛めっき鋼面		
押出成型セメント板面の素地ごしらえはB種とする。 塗料はTVOC 0.3%以下、シーラーはTVOC 1.0%以下とし、監督職員の承諾を必要とする。		
合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP (18.9節)		
使用部位	塗り種別	
コンクリート、モルタル、 フラスター、ボード面	・A種 ※B種	
押出成型セメント板面の素地ごしらえはB種とする。 屋内に使用する場合は、塗料はTVOC 0.3%以下、シーラーはTVOC 1.0%以下とし監督職員の承諾を必要とする。		
水性ウレタンアクリル塗り (18.11節準用)		
使用部位	塗り種別	素地ごしらえ
・床	※4回塗り サンダー掛け5回	・A種 ※B種
・一般木部	※3回塗り・2回塗り	・A種 ※B種
一般木部に使用する塗料はTVOC 1.0%以下、床に使用する塗料はTVOC 12%以下とし監督職員の承諾を必要とする。		

## 19章 内装工事

01 ビニル床シート張り等 (19.2節)			
品名	種類等	厚さ	特殊機能
ビニル床シート	種類( ※FS ) 色柄( ※無地 )	※2.0mm	・帯電防止 ・耐動荷重性 防滑性
・ビニル床タイル	種類( ※KT ) 色柄( )	※2.0mm ・3.0mm	・帯電防止 ・防滑性
・ゴム床タイル	種類( ) 色柄( )	厚さ( ・3mm・4.5mm ) 寸法( )	
ビニル巾木	※軟質・硬質	厚さ( ※1.5mm ) 高さ( ※60mm・75mm・100mm )	
・視覚障害者用床 タイル		厚さ( ) 寸法( )	
・目地処理工法(ビニル床シート張り) ( ※熱溶接工法 ) 施工箇所( ) 接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.2.2) ※下地の種類は図示による (表 19.2.1)			
02 カーペット敷き (19.3節)			
種類	種別、寸法(mm)等		
・織じゅうたん	・A種・B種 ※C種 ルーフパイル・カットパイル 色柄( ※模様のない無地 ) パイル系の種類( ※表 19.3.1による )		
・タフテッドカーペット	※全面接着 ・グリップ ・カットパイル	・ルーフパイル ・パイル長さ ( )	
・ニードルパンチカーペット	・ラバー付 ・ラバー無	厚さ( )	
・タイルカーペット	※1種	※ルーフパイル 寸法( ※500角 )	

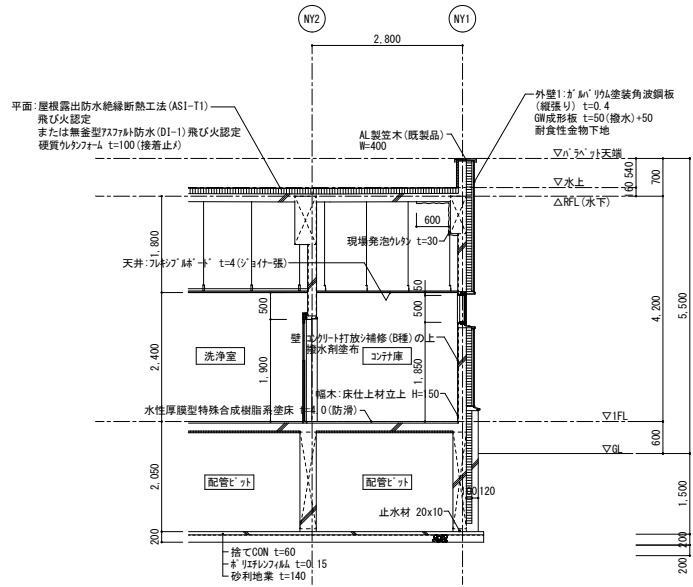
	・2種	・カットパイル	厚さ( ※6.5 )	
・帯電防止(3kV以下) タイルカーペットの敷き方( ※19.3.4 図示による ) 見切り、押え金物の材質、種類及び形状は図示による。 グリップ工法の下敷き材( ※反毛フェルトの第2種2号、呼び厚さ8mm ) (織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ) 下地の種類は図示による。 接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.3.3)				
03 合成樹脂塗床 (19.4節)				
床仕上げ	床材	表面仕上げ		
厚膜型塗床材	弾性ウレタン樹脂系	※平滑・防滑・つや消し ・薄膜流し展べ( 平滑・防滑 ) 厚膜流し展べ( 平滑 防滑 ) ～耐熱共 樹脂モルタル( 平滑・防滑 )		
	エポキシ樹脂系	平滑		
薄膜型塗床材	・エポキシ樹脂系	平滑		
ホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.4.2)				
04 フローリング張り (19.5節)				
品名	工法	厚さ×幅×長さ(mm)		
・フローリングブロック1等	接着			
・フローリングボード1等	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り用)			
・複合フローリング	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り用)	( ・A種・B種・C種 )		
樹種( ※なら ) ( ※地域材 ) ・複合フローリングの防湿処理 ・下張り材料 ( ・合板(712mm) ・パネリクルボード(715mm) 図示による ) ・緩衝材(接着工法) 材料( ※合成樹脂発泡シート ) 仕上げ( ・UC塗り(水性) ・生地の上ワックス塗り ) フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.5.2)(19.5.5)				
05 畳敷き (19.6節)				
種別( ・A種・B種・C種・D種 ) (KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N )				
06 せつこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7節)				
せつこうボードその他のボード類	種類(記号)	種別	厚さ(mm) 備考	
せつこうボード (GB-R)	壁 天井	正	9.5 (準不燃) 12.5・15.0 (不燃) 9.5 (準不燃) 12.5・15.0 (不燃)	
		化粧せつこう ボード(GB-D)	・トラバーチン模様 ホルムアルデヒド吸収分解型 455×910・910×910 ・木目模様 (システム下地)	9.5 (準不燃) 12.5 (不燃) 9.5 (準不燃) 12.5 (不燃)
		強化せつこう ボード(GB-F)		9.5・12.5 (不燃) 15.0 (不燃)
シーリングせつ こうボード (GB-S)			9.5・12.5 (準不燃) 12.5・15.0 (不燃)	
ロクウール化粧 吸音板(DR)	・普通		9.0・12.0 (不燃) 12.0・15.0 (不燃)	
フレキシブル板 (F)			6.0 4.0	
けい酸カルシウ ム板	・普通(※0.8FK) ・化粧(着色)・穴あけ		6.0	
木毛セメント板	※難燃・断熱		20・25	
化粧フレキシブル 板			4.0	
合板				
	種類	樹種(加工方法)	厚さ 処理	
普通合板	ワン	※シナ	12 防虫	
天然木化粧合板			防虫	
特殊加工化粧合板			防虫	
MDF、パネリクルボード、合板、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.7.2)				

07 吸音材	・遮音シール材 ( ・アクリル系シーリング材 ・ウレタン系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド ) 下地 ※図示による 合板の張付け( ・A種 ※B種 ) 合板の表面性能( ) 接着の程度( ) せつこうボードの目地処理( ・継目処理 ・突付け ・目透かし ) 継目処理のエッジの種類( ・テーパーエッジ ・ベベルエッジ ) 突付け、目透かしのエッジの種類( ・ベベルエッジ ・スクエアエッジ )		
吸音材の材質、工法(JIS A 6301)			
材種	品質・規格	厚さ(mm)	
・ロクウール吸音材	※ロクウール吸音ボード1号	25・50・40	
ガラスウール吸音材	※ガラスウール吸音ボード2号	25 50 32K・48K・60K・64K	
工法 ガラスクロス(JIS R 3414EP )にて額縁張りしたもの インサレピン留め化粧ワッシャー押さえ又は断熱ファスター留め ガラスクロス(JIS R 3414EP )にて片面張りしたもの インサレピン留め化粧ワッシャー押さえ又は断熱ファスター留め			
壁紙の品質はJIS A 6921による(19.8節)			
種類	程度	施工箇所	防火性能
※塩化ビニル樹脂系	※普及品	壁 天井	・不燃 準不燃 ※難燃
モルタル、フラスター面素地ごしらえ ( ・A種 ※B種 ) (表 18.2.4) コンクリート面素地ごしらえ ( ・A種 ※B種 ) (表 18.2.5) せつこうボード面素地ごしらえ ( ・A種 ※B種 ) (表 18.2.7) 壁紙、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。 また壁紙はTVOCがISM又はSV規格又は同等の基準のものとする。(19.8.2)			
打込み工法の断熱材はJIS A 9521による。(19.9.2)			
材質	種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・特号 ・1号 ・		
押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・3種 a 3種 b ・	100 30	図示による
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・1種 ・2種 1号 ・		
・フェノールフォーム断熱材	・1種 1号 ・2種 1号 ・		
フェノールフォーム断熱材又は保温材並びに接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。(19.9.2)			
現場発泡工法の断熱材はJIS A 9526による。(19.9.3)			
吹き付け硬質ウレタンフォーム 種類( ※A種 1 ・A種 1H ) 難燃性を有するものとする。 吹付け厚さ( mm) 火気及び有害ガス等に対する安全衛生対策は、関係法令等に従い十分に行う。			
その他の断熱材			
材質	厚さ(mm)	施工箇所	規格
・グラスウール	・16K品(・高性能)		JIS A 9504
・ル	・24K品(・高性能)		JIS A 9521
ホルムアルデヒド放散量等は1章 共通事項 20 揮発性有機化合物対策による。			

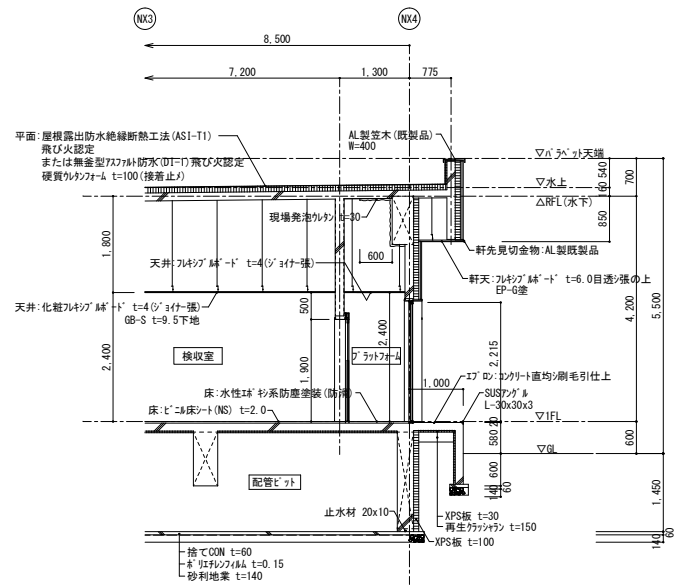
## 20章 ユニット及びその他工事

01 フリーアクセスフロア (20.2.2)	分類		
・置敷式 ・支柱調整式	・支柱非固定タイプ ・支柱固定タイプ	・支柱分離型 ・支柱一体型	
構成材の材質 ( ・アルミ系 ・スチール系 ・有機質系 ・無機質系 )			
表面仕上げ材の材質 ( ・ビニル床タイル ・カーペット ・タイルカーペット ・ホモジニアスビニル床タイル )			
バネ寸法 ( )			
高さ ( ) (床仕上材含まない)			
耐震性能 設計用標準水平震度 Ks ( ・1.0 ・0.6 ) (部位については図示による)			

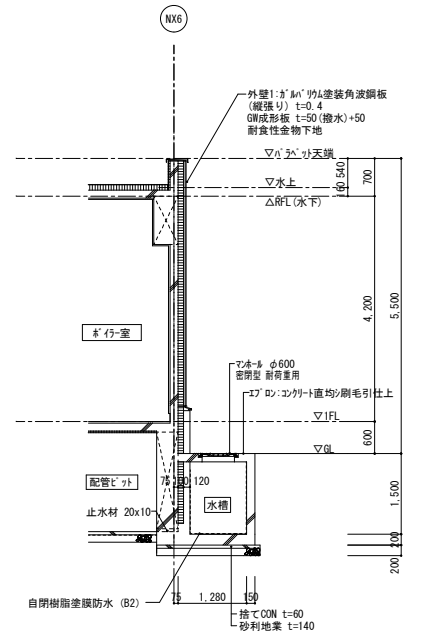




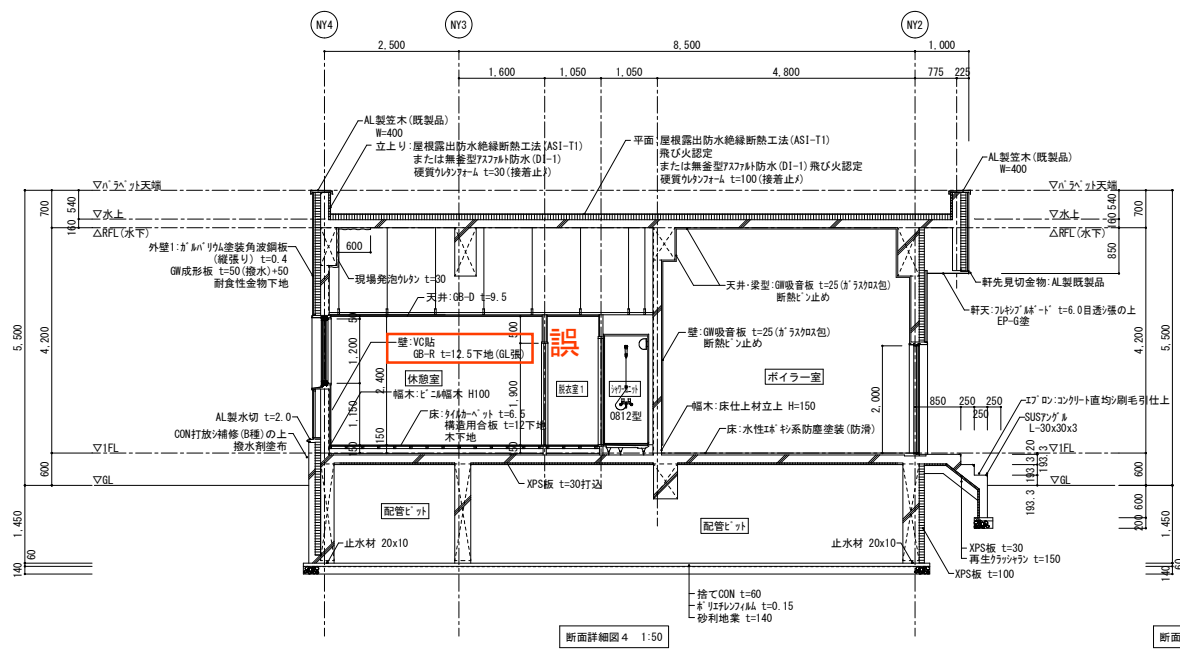
断面詳細図 1 1:50



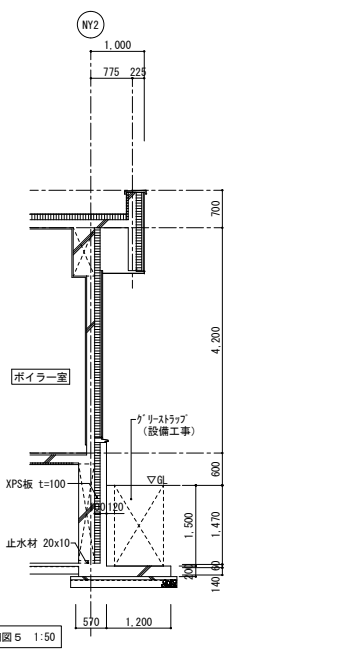
断面詳細図 2 1:50



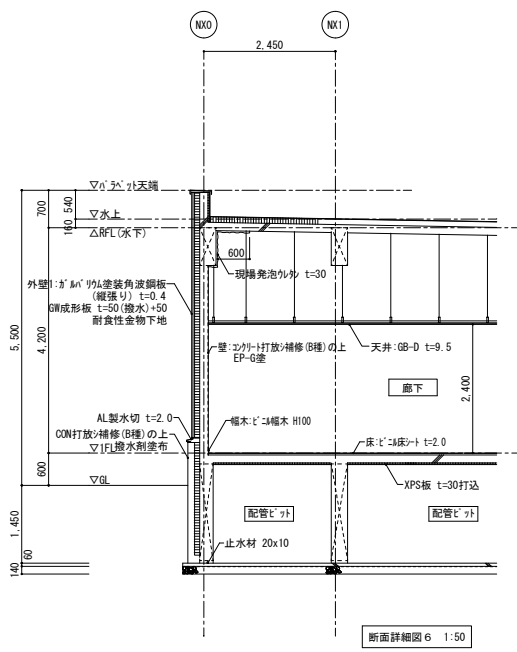
断面詳細図 3 1:50



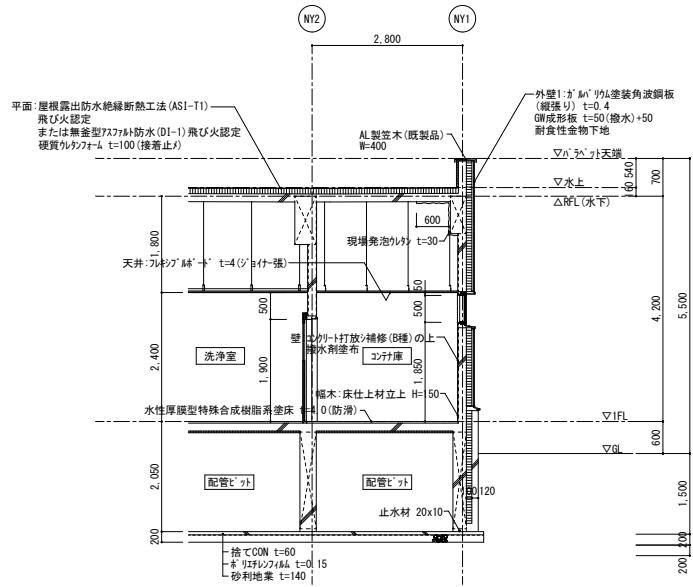
断面詳細図 4 1:50



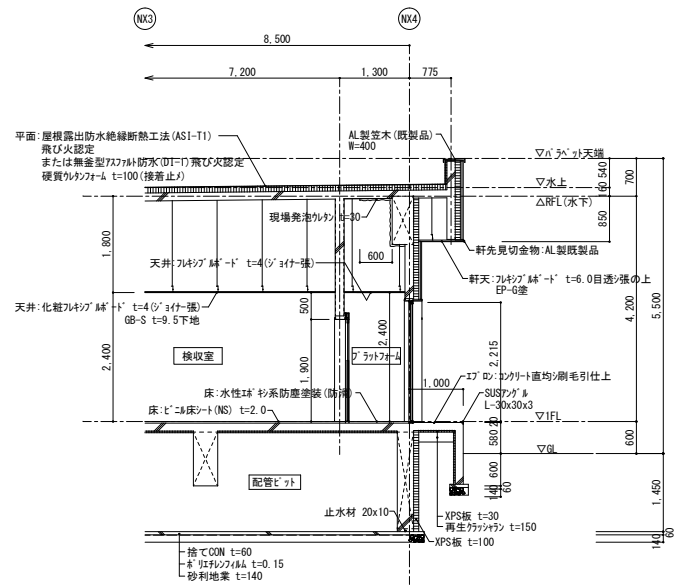
断面詳細図 5 1:50



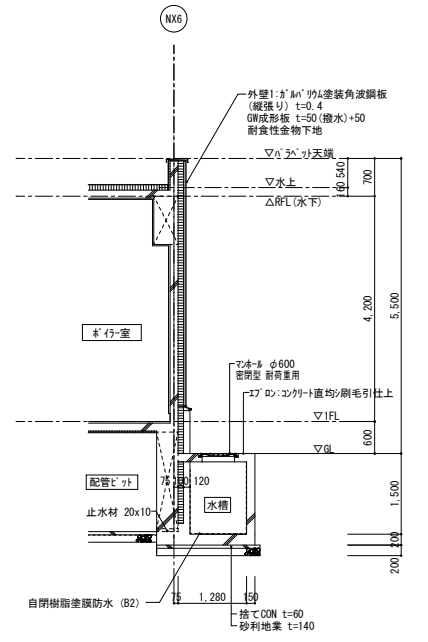
断面詳細図 6 1:50



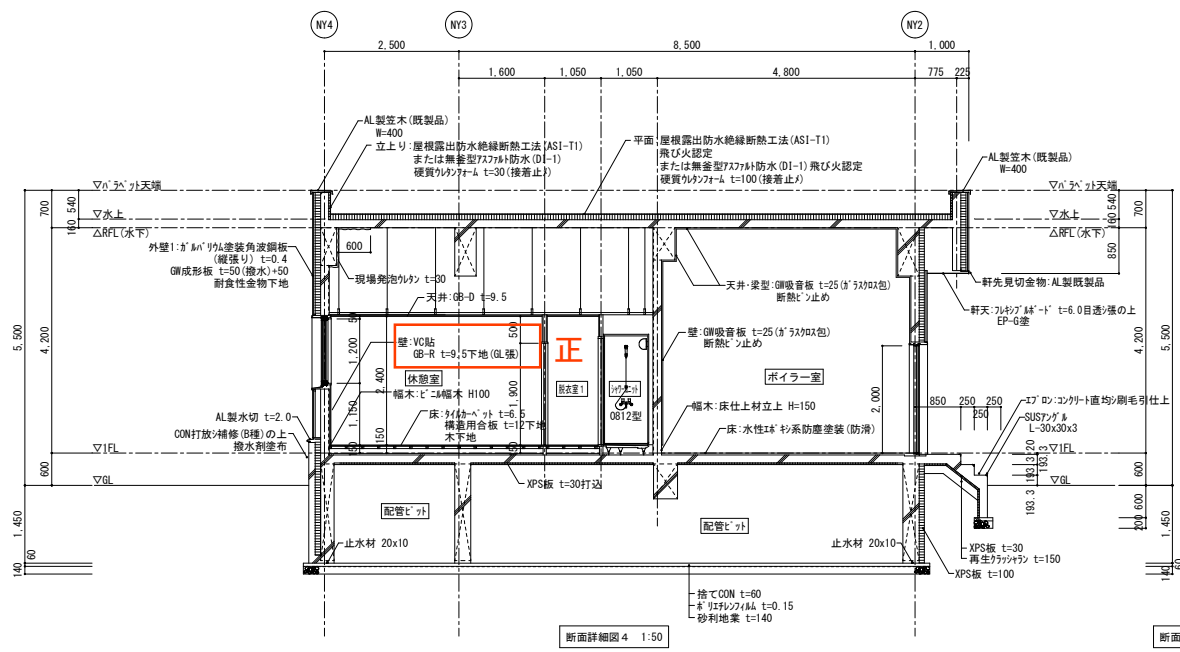
断面詳細図 1 1:50



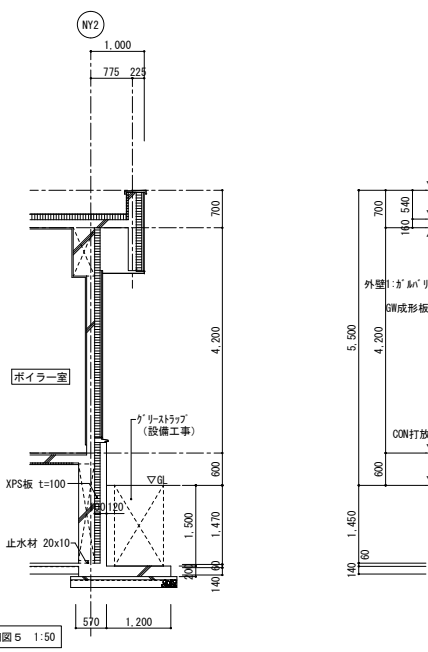
断面詳細図 2 1:50



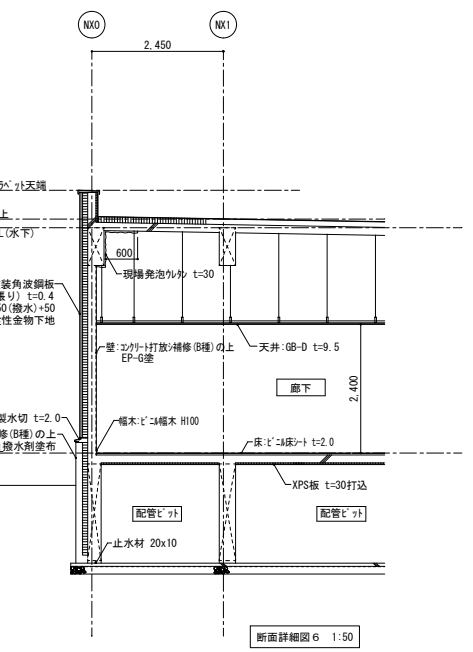
断面詳細図 3 1:50



断面詳細図 4 1:50



断面詳細図 5 1:50



断面詳細図 6 1:50

